

皆さん、こんにちは。日頃あまりお会いすることのない校長の斉木です。これから月一回のペースで「校長室から応援メッセージ」というタイトルで、メッセージをお伝えします。短い時間ですので、嫌がらずに受けとってください。校長室ってどこにあるのか、そういう疑問は大切にしてください。では始めます。

校長室から応援メッセージ（1）

令和4年5月20日（金）

「今ここで自分の最善を尽くす」

皆さん、こんにちは。山梨予備校での新生活が、一か月以上経過しました。いかがお過ごしでしょうか。毎日、一生懸命がんばっている、しかしその一方で、その成果となると、それほど実感できていない、そういう人も多いかと思います。

何かの目標に向かって取り組む際、その目標に確実に近づいている実感が欲しい、と誰もが思うのですが、そういう実感はなかなか得られません。しかし目に見える成果は実はそれほど大したものではなく、私は皆さんに、成果など関係なくただ自分を信じて生きる、それが皆さんの人生なのではないですか、と申し上げたいと思います。

自分の知らないうちに自分の中に、少しずつですが、確実な変化が起きています。この変化はこっそり進行し、ある段階で初めて気づきます。私たちはいつの間にか自分の足で歩き、いつの間にか日本語で話しています。物事がまさに進行している最中には気づかず、ある時振り返って初めて自分の中の大きな変化に気づく、ということです。

皆さんは、自分の人生を山梨予備校で足踏みしているのではありません。今は気づけなくても、確かな足取りで、一步一步、確実に前に進んでいるのです。志望校合格というのも大きなゴールですが、生涯にわたって皆さんの人生に大きく影響し、皆さんの生きる力となる、そういう何かを手にするのです。

この思いは某予備校に通う44年前の自分自身を振り返るその都度、私の胸に去来します。希望とその裏返しの不安を抱きながら、今は目の前のことに集中する。予備校でのこの経験は、皆さんの今後の人生に、計り知れない効果を発揮します。皆さんの健闘を祈ります。ホームルームの時間をいただき、ありがとうございました。